



JAPAN HERITAGE

日本遺産

北前船の聖地

三國湊

ガイドブック



MIKUNI - MINATO
JAPAN HERITAGE / KITAMAE - BUNE



北前船が築いた 歴史と文化 情緒溢れる 三国湊



日本遺産
認定

荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間
～北前船寄港地・船主集落～

文化庁が認定する「日本遺産」とは、日本の文化・伝統を語るストーリーについて、地域に残る有形・無形の文化財を総合的に活用する取り組みを応援するものです。

平成29年4月に、函館市や秋田市、新潟市など11市町が申請した北前船の寄港地・船主集落でのストーリーが日本遺産として認定され、平成30年5月には、江戸時代から明治時代にかけて北前船によって繁栄した「三国湊」にある19件の歴史文化が日本遺産の構成文化財として認定されました。



三国湊の歴史

三国湊は、九頭竜川の河口に位置し、竹田川、足羽川^{あすわがわ}などの多くの河川が合流するため、古くから河川の舟運が盛んでした。また、日本海にも面していることから、越前地域の物資を河川で輸送し、それらを集積して他地域へ運ぶ物流の拠点として繁栄しました。

「三国湊」の初見は、歴史書『続日本紀』によると、宝亀9年(778年)に、送高麗使の乗船が坂井郡三国湊に到着したことが記載されています。

室町時代の『廻船式目』^{かいせんしきもく}では、三国湊は「三津七湊」^{さんしんしちそう}の一つに数えられていました。

江戸中期になると、大坂と北海道間を物資輸送し、これを売買して差益を得る「北前船交易」が始まり、三国でも廻船業に力を入れ始めました。

江戸後期には森田家・内田家といった豪商がおり、三国は日本海側有数の北前船の寄港地としてさらに繁栄し、その様子は、慶応元年(1865年)に描かれた「越前三国湊風景之図」にも見ることができます。

構成
文化財

越前三国湊風景之図 (みくに龍翔館 蔵)



三国湊の繁栄

三国湊の往時の繁栄ぶりは、レトロな西洋建築「旧森田銀行本店」や三国港突堤など、今も残る建造物によっても伺い知ることができます。

また、当時、約40軒の遊女屋や置屋が建ち並んだといわれる三国の花街は、井原西鶴が「北国にまれな色里」とたたえ、江戸時代末期の遊郭番付表では、品川と四ツ谷新宿の間に「三国」の地名が載っているなど、全国屈指のにぎわいであったことを示す資料が残っています。



番付表

三国湊の今

三国湊の繁栄は、明治期に鉄道が開通し、物流の中心が船から鉄道へ移りだすと、次第にその輝きを失っていきました。北前船交易により行き交った人々やにぎわいは徐々に無くなり、三国の町はしばらくの間、時間が止まることになるのです。

しかし、最近になり、当時の面影を残すノスタルジックな町並みの価値が見直され、町並み保全や空き家のリノベーションによるお店の出店などを行い、往時のにぎわいを取り戻そうと動き出しました。来る人も住む人も笑顔あふれる町にしたい、それが今も残る三国人の心意気です。



三国が大好きな人たちに会えます

三国湊の町の成り立ち

丘陵地であった三国神社周辺から町が発展していき、江戸時代初期には、森町から松ヶ下^{まっがした}までが三国湊として成立していました。やがて北前船交易が始まると、川底への土砂の堆積などで、港が川下に移り、町も川下の方へ発展していきます。最盛期は、元新から滝谷の範囲が中心となり、商人の屋敷跡や、船乗り達の憩いの場であった遊郭の風情などを今に伝えています。その成り立ちは、森町から松ヶ下の通りが自然地形に沿って曲がった道に対し、それ以降に発展した町の通りは、直線的な道などからも伺い知れます。このようなポイントにも着目しながら、三国湊の歴史を感じる旅に出かけてみませんか。



松ヶ下付近の風景

三国湊
から
全国へ

笏谷石 (しゃくだにいし)

三国の中でも見られる笏谷石は、福井市の足羽山^{あすわやま}で採掘され、河川の舟運で三国湊に運ばれた後、北前船で全国に運ばれたもので、全国各地に遺されています。加工しやすく、濡れると独特の青緑色を発するのが特徴です。三国の旧岸名家やお寺、神社などでも笏谷石と出会うことができます。





三国湊ノスタルジック散歩
MIKUNI - MINATO NOSTALGIC WALK

豪商の面影が残る 三国湊きたまえ通りを散策



マチノクラ

MAP > 06

三国湊の海運と文学がテーマのミニ資料館。三国湊の散策は、館内の展示品やガイダンスムービーをご覧いただき、三国湊の概要を知るところから始めてはいかがでしょうか。往時を想いながら町歩きをお楽しみください。

- 時間 9:00~17:00
- 料金 150円/人(中学生以下は無料)
※旧岸名家(100円/人)とのセット割引入場券をご利用いただくと50円引きの200円/人となります。
- 休み 水曜日、年末年始



構成文化財



「トオリニワ」と呼ばれる笏谷石の廊下が家の中を貫いています。

旧岸名家

MAP > 07

岸名家は、北前船交易において、材木商を営んでいた三国湊を代表する商家の一つ。その家が今でも残っており、建物内を見学することができます。「かぐら建て」と呼ばれる建築様式が特徴です。

※かぐら建てとは、切妻造妻入の主体部の前方に平入の表屋を付けた、独特な建て方のこと。

- 時間 9:00~17:00
- 料金 100円(マチノクラとのセット割引入場券あり)
- 休み 水曜日、年末年始



旧森田銀行本店

MAP > 09

森田家は三国湊を代表する豪商の一つ。同家は明治の中頃まで廻船業を営んでいましたが、海運の衰退をいち早く察知し、金融業へと転換を図りました。銀行は大いに成長し、大正9年(1920年)、この建物が新しい本店として建てられました。

- 時間 9:00~17:00
- 料金 入場無料
- 休み 月曜日、年末年始



三国湊町家館

MAP > 08

きたまえ通りにある休憩所。観光情報の収集ができ、5月に行われる北陸を代表する祭り「三国祭」の山車巡行の様子や8月に行われる「三国湊帯のまち流し」などをビデオで見ることができます。

- 時間 9:00~17:00
- 料金 無料
- 休み 水曜日、年末年始
- レンタサイクル 2時間/300円



アーバンデザインセンター坂井

MAP > 10

2018年4月に築約130年の古民家を改修しオープン。現在は地域のまちづくりを推進する活動拠点になっています。施設内は気軽に立ち寄っていただくことができます。

- 時間 9:00~17:00
- 休み 木曜日、年末年始



三国節

北前船の船頭の船唄として発祥したとも言われる三国の座敷歌。



いざぎ

北前船船頭・水主の祝い唄で、起舟の船祝いの席で唄われた。

なんぼや踊り唄

北前船の船乗りによって、東北の南部地方から伝わった歌。



三国仏壇

三国湊の工芸品で、北前船により船主集落の加賀橋立などに運ばれた。

三国箆筒

江戸時代から明治時代にかけて、三国で作られ、北前船の航海時に使用された必需品。





三国湊ノスタルジック散歩
MIKUNI - MINATO NOSTALGIC WALK

花街三国を偲び 歴史を学ぶ旅



構成
文化財

魚志楼

MAP > 03

三国の「出村」といわれる辺りは、昔花街があったところで、昔の豪商など有力商人たちが毎夜お座敷遊びをしていたといわれています。魚志楼は、芸妓たちの置屋として使っていた建物で、現在は、料亭として営業しています。



構成
文化財

日和山金鳳寺

MAP > 04

ひよりやま
日和山という地名は各地にあり、港近くにある高台で船の行き来や天気を眺めていた場所です。その日和山に建つ金鳳寺では、豪商などの有力商人たちが俳諧を楽しむためきんぽうじ吟社(俳句を楽しむ団体)をつくり、御堂などから船の往来や風景を眺めながら句会を催していました。

瀧谷寺

MAP > 02

1375年に創建された三国で最古の寺院です。本堂・観音堂・山門等の建造物は重要文化財に指定されています。宝物殿には国宝や重要文化財(5月・10月のみ展示)を多く有し、参道のヤブ椿や境内の名勝庭園には落ち着きのある美しい風情を漂わせています。

- 時間 8:00~17:00
(11月~2月は16:30まで)
- 料金 大人500円、中高生300円、
小人200円
- 休み 無休



構成
文化財



三国湊では、明治維新後、北前船船主ら豪商の財力により、いち早く西洋の文化が取り入れられ、三国湊の発展に大きな影響を与えました。その代表が、オランダ人技師のG.A.エッセルが携わった「三国港突堤」と「龍翔小学校」です。

三国港突堤

MAP > 01

三国港は、北前船交易で栄えていた当時、福井一の大河・九頭竜川から流入する土砂の堆積で港内の水深が浅くなる問題に悩まされていました。明治期に入り、三国の豪商たちは、港内の土砂堆積を防ぐため、オランダ人技師のG.A.エッセルやヨハネス・デ・レーケの協力のもと突堤工事に取りかかりました。

いち早く西洋の土木技術を取り入れたこの突堤は、野蒜港(宮城県)、^{のびる}三角港(熊本県)と並び、明治三大築港の一つであり、国の重要文化財に指定され、今もその役割を担い続けています。



構成文化財

みくに龍翔館

MAP > 05

明治12年(1879年)にG.A.エッセルがデザインしたといわれる、五層八角の白亜の龍翔小学校を模して、現在の小高い丘の上に造られた建物です。坂井市の博物館として、三国湊の歴史や暮らしなどを資料や模型を使って詳しく紹介しています。

※リニューアルに伴う改修工事のため長期休館中です。
リニューアルオープンは、令和5年春の予定です。



北前船船絵馬群



北前船古文書群



笏谷石関連古文書群



三国浦絵図



みくに龍翔館に
展示・収蔵されている
構成文化財

構成文化財

三国温泉

三国地区には20軒を越える民宿・旅館・ホテルなどの宿泊施設があり、そのほとんどには天然の三国温泉が引き湯されています。三国温泉は「ほかほか・しっとり美人の湯」といわれ、肌にしっとり水分を補給する作用があり、湯上りに肌が乾燥しにくく、温まった体が持続するので、温め美容や冷え対策にもお勧めです。



三国温泉ゆあぼ〜と

三国港突堤の近くにある、気軽に三国温泉を楽しむ日帰り温泉施設です。自然光をふんだんに取り入れたパノラマサイズの展望風呂は開放感たっぷり。日本海に沈む夕陽や三国サンセットビーチ、大海にそそぐ九頭竜川を一望できます。

- 時間 10:00~23:00
- 料金 大人(中学生以上)500円
小人(3歳以上)200円
- 休み 第3水曜日

ちょっと足を延ばして



構成
文化財

大湊神社

東尋坊の沖合に浮かぶ、周囲2kmの小さな島・雄島。朱色の橋を渡り、78段の石段を上がると、その奥には大湊神社が静かにたたずんでいます。雄島は神宿る島として北前船船主から崇敬され、古来より船乗りの信仰が篤い神社です。

三国神社

MAP 11

構成
文化財

おおやまのいのみこと けいたい
大山咋命と継体天皇を祀る神社で、県指定文化財の太刀と立願文、実物大の木造彩色の神馬が安置されています。

ずいしんもん
入口に大きくたたずむ隨身門は、三国湊の有力な北前船船主であった町衆が寄進したもので、日本遺産の構成文化財に認定されています。



構成
文化財

新保春日神社

新保村は九頭竜川河口の左岸に位置し、対岸の三国湊と並んで河口港として古くから栄えていました。神社境内には江戸時代建立の本殿や、この地域では珍しい瀬戸内地方から運ばれた花こう岩製の石祠、鳥居などが遺されており、日本遺産の構成文化財に認定されています。



東尋坊

絶壁に日本海の荒波が打ち寄せる景色で知られる、国指定天然記念物及び名勝「東尋坊」。約1kmにわたり豪快な柱状節理の断崖が広がっており、地質学的にも大変珍しく貴重な場所とされています。不自然に平らになっている千畳敷という場所は、明治期に行われた三国港突堤工事の基礎石砕石場の跡です。

感じる・味わう 三国湊絶品グルメ



酒まんじゅう

北前船の船乗り達から製法を学び、今に伝えられている伝統の和菓子です。お店によって焼き印が違うのも特徴です。

越前おろしそば

福井県の名物グルメ。三国では、大根おろしの汁とダシを合わせたものをそばにかける食べ方が主流で、「辛み蕎麦」と呼ばれています。



味付けたら

北前船交易で北海道から原料となるタラが入り、独自に加工した商品です。強めの塩味でご飯に合います。



うぐいすもち
鶯餅

創業は約300年前の享保4年。北前船により持ち込まれた砂糖に糯米、小豆、大豆等を加えて生み出され、改良を加えながら今に続く、三国で最も歴史のある和菓子です。

越前がに

福井県で水揚げされるズワイガニのことで、黄色いタグが目印です。特に、三国で水揚げされた越前がには、毎年皇室にも献上されることでも有名です。

海産物

日本海の沖で獲れる魚のほか、海女さんが素潜りして獲る、ウニ・ワカメ・サザエなど、三国は海産物の宝庫です。三国では、ウニは「塩雲丹」、ワカメは「もみわかめ」にして食べます。

また、幕末の志士達が瀧谷寺の山門を出た所で、ウニをつまみに酒を酌み交わしたという逸話があります。



MAPで散策三国湊

↑ 至 東尋坊・雄島

↘ 至 出世山古墳公園

↑ 至 運動公園

⊕ 西徳寺

⊕ 米ヶ脇西光寺

⊕ 白山神社

⊕ 宿春日神社

⊕ 美保神社

⊕ 敬勝寺

⊕ 円蔵寺

眼鏡橋

三国サンセットビーチ

三国港駅

三国魚市場

三国温泉ゆあぼ〜と

日本海

三国港突堤

九頭竜川

永正寺

観光ボランティアガイド



ボランティアガイド
きたまえ三国

三国湊の歴史・文化などの話を交えながら案内してくれます。(要予約)

- 料金 1,500円(1団体)
- 電話 0776-82-0947

記号について

⊕ トイレ

P 駐車場

📍 観光案内

100m

散策移動時間目安(徒歩)





ONO MEMORIAL

05
みくに龍翔館

成田山
三国観光ホテル

三国高等学校

三国病院

至あわら・福井

三国北小学校

三国中学校

坂井市立三国図書館

エッセル坂

三国駅

コンビニ

えちぜん鉄道
三国神社駅

ハニー
(スーパーマーケット)

三国
コミュニティ
センター

辰巳川神社
神明社
月窓寺

スーパー
マーケット

四之部山車蔵

喜宝区山車蔵

下錦区山車蔵

氷川神社
久昌寺

〒郵便局

宝林寺

出村西光寺

専了寺

智敬寺

溪柳寺

イーザ/Acoop
(スーパーマーケット)

滝谷
出村

三国商工会館

高見順生家

上ハ町山車蔵

勝授寺

記念寺

03
魚志楼

虹屋スクエア

日和山金鳳寺

04
見返り橋

下新区山車蔵

元新区山車蔵

松ヶ下
西光寺

圓乗寺

三国南小学校

コンビニ

思案橋

桜町区山車蔵

きたまえ通り

元新

松ヶ下区山車蔵

遠成寺

性海寺

圓乗坊

惠雲寺

四日市区山車蔵

11
三国神社

三国湊座

07
旧岸名家

08
三国湊町家館

09
旧森田銀行本店

10
アーバンデザインセンター坂井

下西区山車蔵

真龍寺

妙海寺

桜谷公園

住吉神社

木立神社

森町

森町区山車蔵

06
マチノクラ

07
旧岸名家

08
三国湊町家館

09
旧森田銀行本店

松ヶ下区山車蔵

性海寺

圓乗坊

惠雲寺

住吉神社

木立神社

森町

森町区山車蔵

中元区山車蔵

玉井区山車蔵

三国祭山車蔵

岩崎区山車蔵

信行寺

汐見公園

至新保

竹田川

三国湊を彩る イベント



雄島祭

毎年、4/20に行われる、大湊神社の祭事で、海の安全や豊漁を願います。船神輿と乙女神輿による東尋坊での逢瀬や、船神輿が海に入るシーンが見ものです。



三国祭

毎年、5/19~21に行われる、三國神社の例大祭。北陸三大祭の一つに数えられ、祭り中日の20日には、高さ6mにも及ぶ巨大な武者人形山車が町内を練り歩き、街中が祭り一色になります。

構成文化財



三国花火大会

毎年8月11日、三国サンセットビーチを舞台に、最大2尺の打ち上げ花火や投げ込み式水中花火、音楽スターマインなどの花火が真夏の夜空を美しく染めます。



三国湊帯のまち流し

初秋の夕暮れ、帯の幅ほどとよばれる細長い三国の町並みの中を、三国節の三味線や笛の音色に合わせて、踊り手たちが踊り流します。三国湊に秋の到来を告げる風物詩です。



三国湊かに祭り

毎年、11月中旬頃に行われる、三国港で水揚げされた新鮮な越前がにや地元特産品の味を紹介・販売するイベントで、大勢の買い物客で賑わいます。

【三国湊へのアクセス】

東京からお越しの方

- [JR] 東海道新幹線で米原乗り換え、特急で福井駅下車、えちぜん鉄道で三国方面へ
北陸新幹線で金沢乗り換え、特急で芦原温泉駅下車後、バス・タクシー利用
- [飛行機] 羽田空港から小松空港で連絡バス乗り換え、小松駅から芦原温泉駅下車後、バス・タクシー利用
- [お車] 東名、名神高速、米原JCTで北陸自動車道、丸岡IC下車、三国方面へ

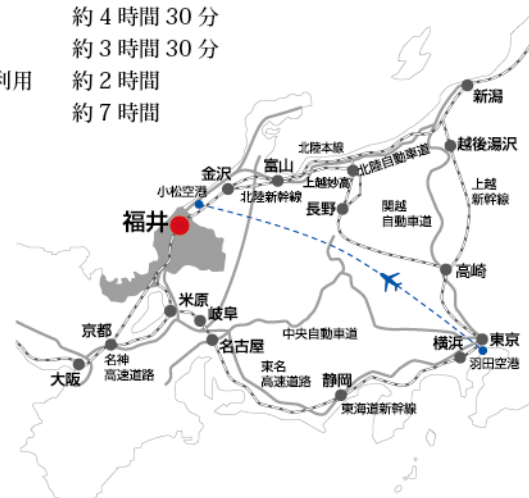
名古屋からお越しの方

- [JR] 特急で福井駅下車、えちぜん鉄道で三国方面へ 約2時間50分
- [お車] 名神高速、米原JCTで北陸自動車道、丸岡IC下車、三国方面へ 約3時間20分

大阪からお越しの方

- [JR] 特急で福井駅下車、えちぜん鉄道で三国方面へ 約2時間50分
- [お車] 名神高速、米原JCTで北陸自動車道、丸岡IC下車、三国方面へ 約4時間00分

- 約4時間30分
- 約3時間30分
- 約2時間
- 約7時間



【お問合せ先】

東尋坊観光案内所
TEL: 0776-82-5515

【発行元】

一般社団法人 DMO さかい観光局
〒913-0063
福井県坂井市三国町安島 64-1-166
TEL: 0776-82-1555
Mail: info@dmo-sakai.com

このガイドブックに掲載されている情報は、
2021年3月現在のものです。